

入学料免除等申請書

申請対象者B
徴収猶予申請

① ※申請区分

1 免除及び徴収猶予

2 免除

3 徴収猶予

申請者	フリガナ	③ 受験番号	④ 2 0 2 6 年 4 月 入学予定	
	氏名	⑤ 入学予定	学群 群 学類 類	
	◆学籍番号			
	⑥ 出身学校	※ 学校 年 月 卒業・中退		
	⑦ 現住所	〒 Tel		
⑧ 家族住所	〒 Tel			

注 申請者の親と別居している独立した兄弟姉妹や祖父母等は別生計であれば記入しない。両親は死別や戸籍上の生別を除き必ず含めること。

⑨ 家族及び所得（就学者を除く）			申請者	就学者を除く家族					
	申請者との関係		本人	父	母				
	氏名								
	年齢								
	職業								
			(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	1 給与収入	給料、賃金、役員報酬、アルバイト							
		年金、恩給、傷病手当金							
		失業保険							
		生活扶助(生活保護費、児童手当等)							
		その他							
		給与収入合計							
	大学使用欄								
	2 給与収入以外の所得	商・工・林・農・水産業・その他							
		地代・家賃・利子・配当							
		養育費等							
		その他							
		臨時所得							
		退職金							
		保険金							
その他()									
給与収入以外の合計									
大学使用欄									

⑩ 就学者	本人	⑪ 給与奨学金 給与奨学金名:							受給(見込)額(年額) 千円	
	続柄	氏名	年齢	設置区分	学校区分	通学区分	⑫ 令和6年度状況 (日本の国立学校の高校以上就学者のみ) 授業料免除状況			基本授業料 年額(千円)
	本人					※自宅 自宅外	前期	後期		
				国立 公立 私立	※小学校 中学校 高校 大学 高専 専修学校(高等課程) 専修学校(専門課程) (学校名) (年)	※自宅 自宅外	※無・全免 半免・一部	※無・全免 半免・一部		
				国立 公立 私立	※小学校 中学校 高校 大学 高専 専修学校(高等課程) 専修学校(専門課程) (学校名) (年)	※自宅 自宅外	※無・全免 半免・一部	※無・全免 半免・一部		
				国立 公立 私立	※小学校 中学校 高校 大学 高専 専修学校(高等課程) 専修学校(専門課程) (学校名) (年)	※自宅 自宅外	※無・全免 半免・一部	※無・全免 半免・一部		
				国立 公立 私立	※小学校 中学校 高校 大学 高専 専修学校(高等課程) 専修学校(専門課程) (学校名) (年)	※自宅 自宅外	※無・全免 半免・一部	※無・全免 半免・一部		
	障害者のいる世帯		続柄() ※ 障害者・要介護3以上・その他()		障害者年金 有・無					
	長期療養者のいる世帯		続柄() 氏名()		療養期間 年 月から 療養費 計 千円					
	主たる家計支持者が別居している世帯		申請時現在の住所		別居の期間 年 月から(か月)					
災害・盗難等の被害を受けた世帯		被災内容		被災額 千円						
⑭ 家族数		人(含本人)		⑮ 外国人留学生 ※		1 該当		2 非該当		

〔注〕 ※欄は該当箇所を○で囲むこと。 ◆欄は記入しないでください。

入学料免除・徴収猶予を申請する理由について下欄免除及び徴収猶予のそれぞれで該当する番号1つに○をつけてください。			
⑬ 申 請 の 理 由 及 び 家 庭 事 情	※ 申 請 理 由	免 除	(1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は、本人若しくは学資負担者が、風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であるため。
		(2)	入学前1年以内において、学資負担者が真にやむを得ない事由により失職し、免除の申請時に著しく経済的に困難をきたしているため。
		(3)	上記(1)又は(2)に準ずる特別な事情があり、免除の申請時に著しく経済的に困難をきたしているため。
	徴 収 猶 予	(4) 経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業が優秀であるため。	
	(5)	入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は、本人若しくは学資負担者が、風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付期限までに納付が困難であるため。	
	(6)	学資負担者の失職等やむを得ない事情があり納付期限までに納付が困難であるため。	
	(7)	上記(5)又は(6)に準ずる特別な事情があり、入学料の納付期限までに納付が困難であるため。	
	○上記申請に至った理由を具体的に記入すること。〔上記(3)、(4)、(7)の場合は、「経済的理由」を含めて説明してください。〕 外国人留学生の場合も日本語で記入してください。 ○留学生以外で「徴収猶予のみ」を申請する場合は、併せて申請対象Aでない理由を簡潔に記載してください。		
	主たる家計支持者無職・失職の場合 その時期と生活費の出所		※就業見込(有 ・ 無)
2026年度入学料の ※ 1 免除をお願いしたく、必要書類を添えて申請します。 なお、不許可又は半額免除と決定された場合は、入学料の徴収猶予をお願いしたく併せて申請します。 2 免除をお願いしたく、必要書類を添えて申請します。 3 徴収猶予をお願いしたく、必要書類を添えて申請します。			
年 月 日			
筑 波 大 学 長 殿			
申請者氏名 〔署 名〕 _____			
国内に家族等がない場合の国内連絡先 (いる場合は家族住所欄等に記載すること)			
フリガナ 氏 名	本人との関係	住所 TEL ()	